アップリカのジュニアシート

ユーロジュニア02

取扱説明書

体重15kg以上36kg以下のお子さま用です。
自動車の進行方向に対して前向きの3点式シートベルト
装着の座席のみ使用できます。

このたびは、アップリカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前に、本書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
取扱説明書に記載されている以外の方法で使用しないでください。
また、お読みになった後は、本書を大切に保管してください。

ECE（欧州安全基準）R44.04認可
汎用型グループ Ⅱ〜Ⅲ、15kg以上36kg未満。
座部横に貼られてある認証番号シールは、はがさないでください。

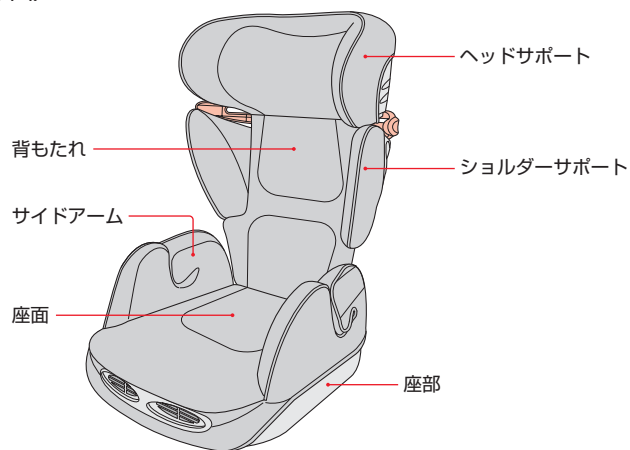
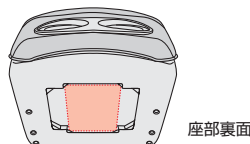
10-06

167-8N16-02

もくじ

ご使用前に

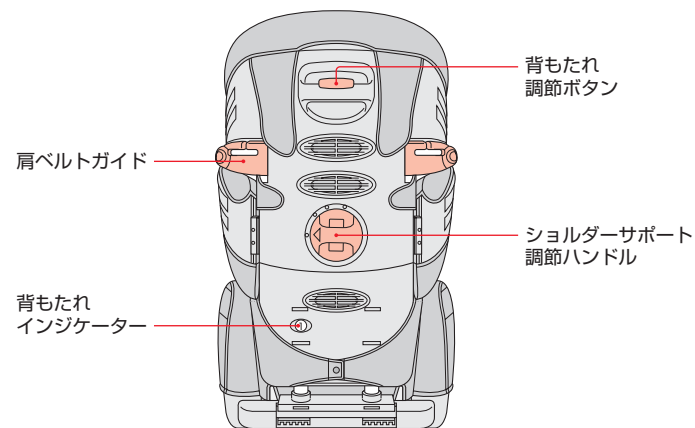
ご使用前の確認

・製品を箱から取り出した後に、部品が揃っているか、破損などがないかを確認してください。
・欠品や破損など、ご確認された場合は使用を中止し、お買い上げの販売店または当社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
・本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組みなどを分かり易くするため、現物とは若干異なる場合があります。

〈重　要〉

・お客様登録カードは、当社よりリコールや自主回収などチャイルドシートに係わる重要な情報を連絡する際に必要となります。お買い上げ日、またはお子さまが生まれた日より１カ月以内に投函してください。

⚠警告

フロントエアバッグが装備された座席に取り付けないでください。
・ご使用の前に、本書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
・製品を改造しないでください。また、取扱説明書に記載されている以外の方法で使用しないでください。
・本書をお読みになった後は、必ずチャイルドシートの座部裏面に本書を保管してください。

各部の名称

チャイルドシートについて

・チャイルドシートは、お子さまの安全を守るための機能を備えております。これらの機能は自動車事故などの際に、お子さまの傷害を軽減します。ただし、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。
・本品は日本国内においてのみ、ご使用いただけます。

保護者の方へのアドバイス

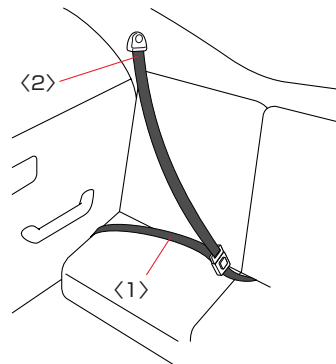
・お子さまを車に乗せる時は、チャイルドシートの使用を習慣にしてください。
・長時間のドライブでは、定期的に休憩を取って、お子さまの気分転換をはかってください。

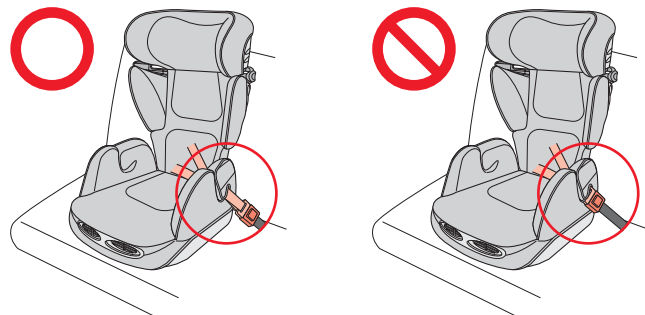
本書の表示について

・「危険」、「警告」、「注意」、「禁止」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したものです。大変重要な内容ですので、必ずお守りください。

表　示	表示の内容
⚠ 危険	誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。
⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定されます。
🚫 禁止	製品の取扱いの禁止の行為です。絶対してはいけません。

使用するシートベルトタイプ

・チャイルドシートは、助手席または後部座席に、３点式シートベルトの腰〈1〉および肩〈2〉部分を使用して、必ず前向きに取り付けること。
・ ECE 規則 No.16 または他同等の基準に基づいて認可された自動車３点式／リトラクター付きシートベルトを装備した記載車種に限り使用できます。

シートベルトバックルの正しい位置

・シートベルトバックルの位置は、チャイルドシートの安定性に影響を及ぼす可能性があります。シートベルトバックルの位置によっては、事故時にお子さまを保護するためのチャイルドシートの効果を損なうおそれがあります。
・下図のようにバックルがシートをまたぐ場合は、本製品はそのシートベルト及び車両ではご使用になれません。ご不明な方は、当社お客様サポートセンターまでお問い合わせください。

使用条件

・下記の条件を満たさないお子さまには絶対使用しないでください。
　この条件を満たさないお子さまには事故時の傷害を軽減する効果がありません。

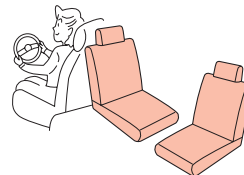
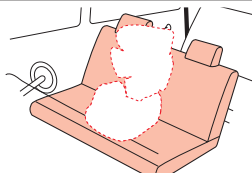
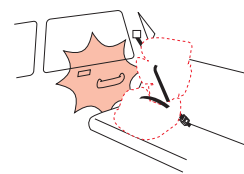
・お子さまの成長に合わせて、２通りの使い方があります。

グループⅡ	体　重…15kg以上25kg以下
耳の上端部	・参考身長…95cm以上120cm以下 ・腰が安定し、一人座りができること。 ・チャイルドシートに座った時、車のシートベルトのタングが、バックルに差し込めること。 ・チャイルドシートに座った時、頭部重心位置（耳の上端部）がチャイルドシートの背もたれの上端部より下になること。
グループⅡ・Ⅲ	**体　重…15kg以上36kg以下**
耳の上端部	・参考身長…100cm以上145cm以下 ・腰が安定し、一人座りができること。 ・チャイルドシートに座った時、車のシートベルトのタングが、バックルに差し込めること。 ・チャイルドシートに座った時、頭部重心位置（耳の上端部）が車のシートの上端部、又はヘッドレストの上端部より下になること。

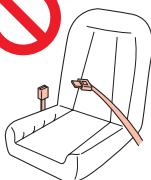
座席の条件／座席の位置及び装備

〈お奨めする取り付け座席の位置〉
・お子さまの安全性を高めるために、運転席より後ろの列の座席に取り付けることをお奨めします。

〈サイドエアバッグが装備された座席に取り付ける場合の注意〉
・車の取扱説明書に従って取り付けてください。
・自動車メーカーのお客様相談窓口にお問い合わせください。

〈取り付けできない座席〉

・車の進行方向に対して横向き及び後ろ向きの座席。

・前列の中央座席。（前列ベンチ座席仕様車）

・座席以外のピラーやドアなどの車両構造物に本品が接触して、正しく取り付けできない座席。

座席の条件／座席の形状

〈取り付けできない座席〉

・奥行きが極端に短い座席。
（補助座席、幼児専用座席）

・座席のフラット面が極端に狭くチャイルドシートが座席に落ち着かない座席。
（市販座席に取り替えられた車両、スポーツ車、レース車、補助座席、幼児専用座席など）

・臀部をホールドするため凹形にくぼんだ座席で、バックル位置が座面より極端に高い位置になる座席。
（チャイルドシートが落ち込むため安定しません。）

・大腿部、臀部をホールドするため凹形にくぼんだ座席で、チャイルドシートが安定しない座席。
（市販座席に取り替えられた車両、スポーツ車、レース車など）

シートベルトの条件／シートベルトの種類

・必ず３点式シートベルトが取り付けられていること。

	シートベルトの種類	特　徴	取り付け上の注意点
3点式シートベルト	ELR （緊急ロック式巻取装置） 付シートベルト	通常はシートベルトが肩側の取り付け部から自由に出し入れでき、急ブレーキや衝突などの時だけロックされる。	シートベルトをゆるやかに引き出し使用すること。
	A-ELR （チャイルドシート固定機構） 付シートベルト	ベルトをすべて引き出すと、入る方向にしか動かなくなる機構のELR付き。	シートベルトをすべてもどすと、チャイルドシート固定機構が解除されます。
	ALR （自動ロック式巻取装置） 付シートベルト	ベルトを引き出す途中で手を止めると、自動ロックされる巻取装置付き。	シートベルトをすべてもどすと、シートベルトロックが解除されます。
	NLR （非ロック式巻取装置） 付シートベルト	ベルトをすべて引き出してから長さを調節する。	シートベルトをすべて引き出した状態から、長さを調節して使用すること。
	手動調節式 シートベルト	巻取装置が付いていない。	長さを調節して使用すること。

〈取り付けできないシートベルト〉

・２点式シートベルトの座席。

・シートベルトの取り付け部が上下共巻き取り式の座席。

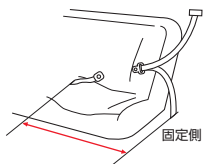
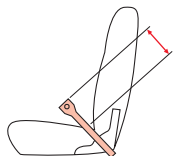
・パッシブシートベルトの座席。（座席に座ってドアを閉めると自動的にシートベルトが装着される座席）

・市販のスポーツタイプシートベルトが装備されている座席。

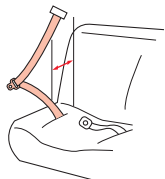
⚠注意

・プリテンショナー付シートベルトは、強い衝撃を前面から受けた時にシートベルトを引き込みます。ベルトが引き込まれた後は、チャイルドシートを取り付けないでください。

シートベルトの条件／シートベルトの位置

〈取り付けできない３点式シートベルト〉

・車のシートベルトの取り付け幅が極端に狭い座席。

・バックル側のベルトが樹脂製などで固く、バックル位置が高い座席。（RV 車に多い）

・座面より極端に高いと、チャイルドシートのベルト固定ガイドに干渉し、チャイルドシートが固定できません。

・シートベルトの取り付け位置が座面より極端に高い座席。（2 ドア車に多い）

・車のシートベルトのバックル、及び腰シートベルトの取り付け位置が前方によっている座席。

・背もたれより極端に前方から出ていて、シートリクライニング機構のない座席。

ご使用上の注意

・ここに記載した内容は非常に重要です。よくお読みになり、必ず遵守してください。

⚠危険

- **誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。**

・いかなる場合にも、**フロントエアバッグ装備車の助手席**には本製品を取り付けないでください。
・肩シートベルトを背もたれのベルトガイドに通さないで使用しない。
・肩ベルトガイドがお子さまの肩よりも低い位置及び、3cm 以上高い位置で使用しない。
・本製品の乗員保護効果を最大限に高めるために、本書の記述に従って本製品を車のシートベルトで正しく取り付け、しっかりとシートに固定してください。
・本製品がドアやダッシュボード、コンソールなどに接触していないか確認してください。後席に取り付ける時は、前席シートの背面が本製品に接触しないようにしてください。可倒式リヤシートでは、シートが確実にロックされていることを確認してください。
・緊急時には、車のシートベルトのバックルを外し、お子さまを迅速に救助してください。
・使用条件に適合しないお子さまや、座席では使用しない。
・本製品は補助席や幼児専用座席には取り付けできません。
・本製品を固定する車のシートベルトバックルを外したままにしないでください。
・本書に記載していない方法で本製品を固定したり、お子さまを乗せないでください。
・チャイルドシートが確実に固定できない座席では使用しない。
・お子さまが立ったり、中腰、正座をした状態で使用しない。
・シートベルトに損傷がある座席には取り付けない。

⚠警告

・誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

・いかなる場合も、お子さまを残して車から離れないでください。
・肩ベルトは肩の中央を通し、腰ベルトは下腹部を避けて骨盤の上に着用してください。
・車のシートベルトに、ねじれや緩みがないことを確認してください。
・腰ベルトはできるだけ低い位置で、お子さまの骨盤の上に着用する。絶対にお腹に向けてベルトを締めない。
・肩シートベルトを、お子さまの首や腹部など身体の弱い部分に掛けて使用しない。
・背もたれのみで使用しない。
・二人以上で使用しない。
・緊急時の脱出の妨げになる座席には本製品を取り付けない。
・本製品の底面の一部分にクッションなどを敷かない。
・走行中にベルト調節などを行わない。
・背もたれを使用しない場合は、固定した状態で収納してください。
・本製品を直射日光にさらさない。
金属部品などが熱くなり、やけどのおそれがあります。

⚠注意

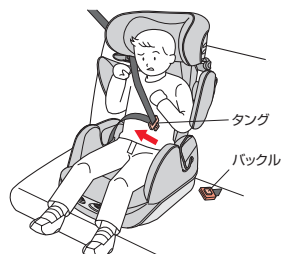
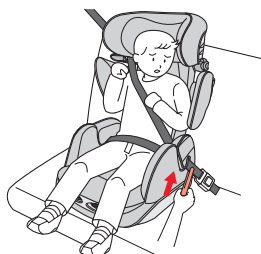
・誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

・直射日光にさらされると車内が非常に高温になります。直射日光が当たる場所で車から離れる時は、チャイルドシートにタオルなどをかけて、過熱しないように注意してください。直射日光にさらされると、製品の寿命が縮まったり、お子さまがやけどをする危険性があります。
・車内の荷物は確実に固定し、鋭利な部分がある荷物は載せないでください。急ブレーキや事故などの衝撃でお子さまがケガをするおそれがあります。
・本製品にお子さまを乗せていない時も、車のシートベルトで本製品をしっかりと固定してください。急ブレーキや事故などの衝撃で乗員がケガをするおそれがあります。
・本製品は、自動車用チャイルドシートとして使用することを前提に開発しています。取り外した状態で、お子さまのベッドや椅子として使用しないでください。
・お子さまを本製品に乗せたままでリクライニング操作などをしないでください。
・本製品を車の可動式シートやドアに挟まない。
・本製品がシフトレバーやパーキングブレーキなどの操作に支障をきたす座席には取り付けない。
・車の座席が革仕様の場合、直接取り付けると座席を傷つけるおそれがあります。
・火などの近くに放置したり、長時間屋外に放置しない。
・小さなお子さまに本製品の取り付けや操作をさせない。
・本製品に重量物を載せない。

⊘禁止

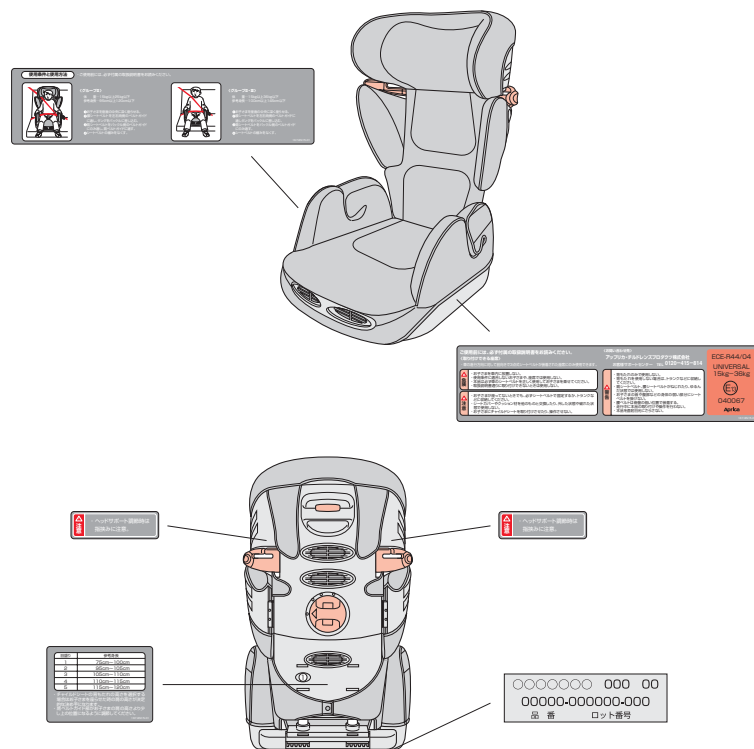
・製品の取り扱いの禁止の行為です。絶対してはいけない内容です。

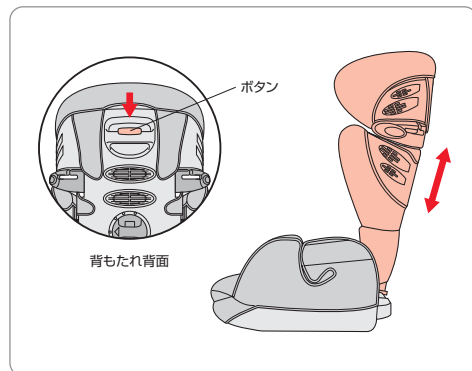
・本製品を分解、改造及び、部品交換をしないでください。
・事故や落下などによる強い衝撃を受けた後や、異常を発見した時は、本製品を使用しないでください。シートベルトに擦り傷や摩耗、亀裂などがないか定期的に点検してください。特にシートベルトの縫い目、タングの取り付け部、ベルト長さを調節する部分などは念入りに点検してください。
・本製品をシートカバーを取り外した状態で使用しない。
（当社が推奨するシートカバーのみ使用すること。）
・本製品のシートカバー内側には、衝撃吸収パッドが取り付けられています。これらのパッドは、絶対に取り外したり、他の物と交換したり破れたまま使用しないでください。
・本製品を保管する時は、直射日光や風雨にさらされず、高温多湿にならない冷暗所に保管してください。また、本製品の上に重い物を載せないでください。
・お子さまの遊び道具として使用させない。
・保護者、介添者などが椅子など腰掛けとして使用しない。
・取扱説明書及びチャイルドシートに記載されている以外の荷重保持接点を使用しない。
・本製品の取り付けや取り扱いに関する不明点がありましたら、当社お客様サポートセンターまたはお買い上げの販売店にご相談ください。

緊急時のお子さまの降ろし方

緊急の時はあわてずに…
❶車のシートベルトのバックルを外す。
❷お子さまをチャイルドシートから降ろす。
❸安全な場所へ避難する。

バックルからタングが抜けない時は…
●車のシートベルトをシートベルトカッター（市販品）などで切り、お子さまを降ろす。

ラベルについて

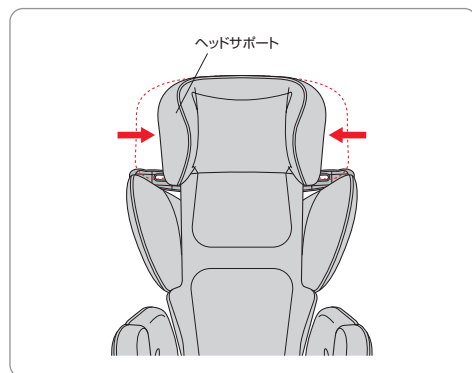
・製品には、使用上の注意を記載したラベルを貼付しています。ラベルをお読みいただき内容を必ず守ってください。
・ラベル類は汚したり、はがしたりしないでください。
・ラベル類が読めなくなった場合は、製品名、品番をご確認の上、お買い上げの販売店または当社お客様サポートセンターまでご連絡ください。

ラベル類の貼付位置

各部の操作方法

背もたれの高さ調節

背もたれ調節ボタンを押した状態で背もたれを上下させボタンを戻します。

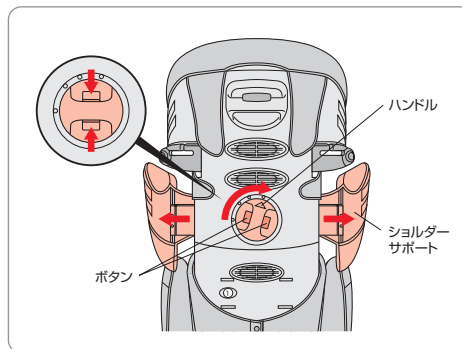
⚠注意

・背もたれを上下にゆすりロックされていることを確認してください。

ヘッドサポートの調節

ヘッドサポートを内側に倒します。

⚠注意

・ヘッドサポート調節時は本体などで手、指などを挟まないように注意してください。
手、指などを挟み、けがをするおそれがあります。
・お子さまを乗せる前に背もたれが確実に取り付けられていることを確認してください。

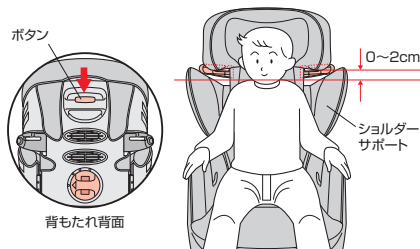
ショルダーサポートの調節

ハンドルのボタンを押した状態で、ハンドルを回してショルダーサポートを調節し、ボタンを戻します。

⚠注意

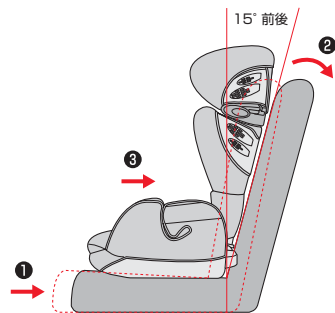
・ボタンが戻りショルダーサポートがロックされていることを確認してください。

グループⅡ

体重： 15kg 以上 25kg 以下（参考身長： 95cm 以上 120cm 以下）

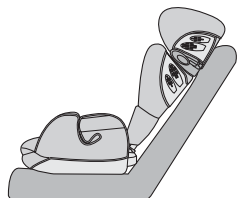
本体の取り付け方

1 背もたれ調節ボタンを押して、肩ベルトガイドの高さをお子さまの肩から 2cm 以内に背もたれを調節します。

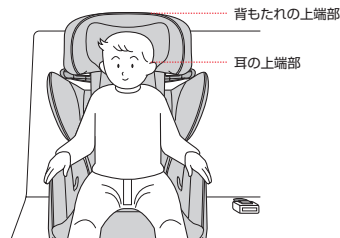
・お子さまの体格に合わせてショルダーサポートを調節してください。(P18 参照)

2

❶車の座席が前後にスライドする場合は、一番後ろに下げます。

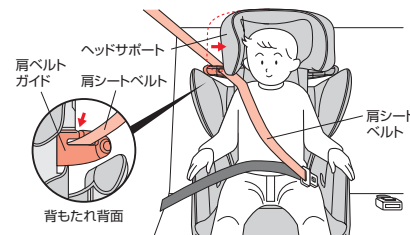
❷リクライニング付きの場合は 15° 前後倒します。

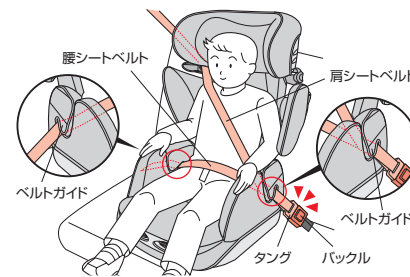
❸チャイルドシートの背もたれと、車の座席の背もたれのスキ間が出来るだけ小さくなるようにチャイルドシートを置きます。

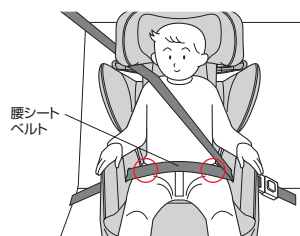
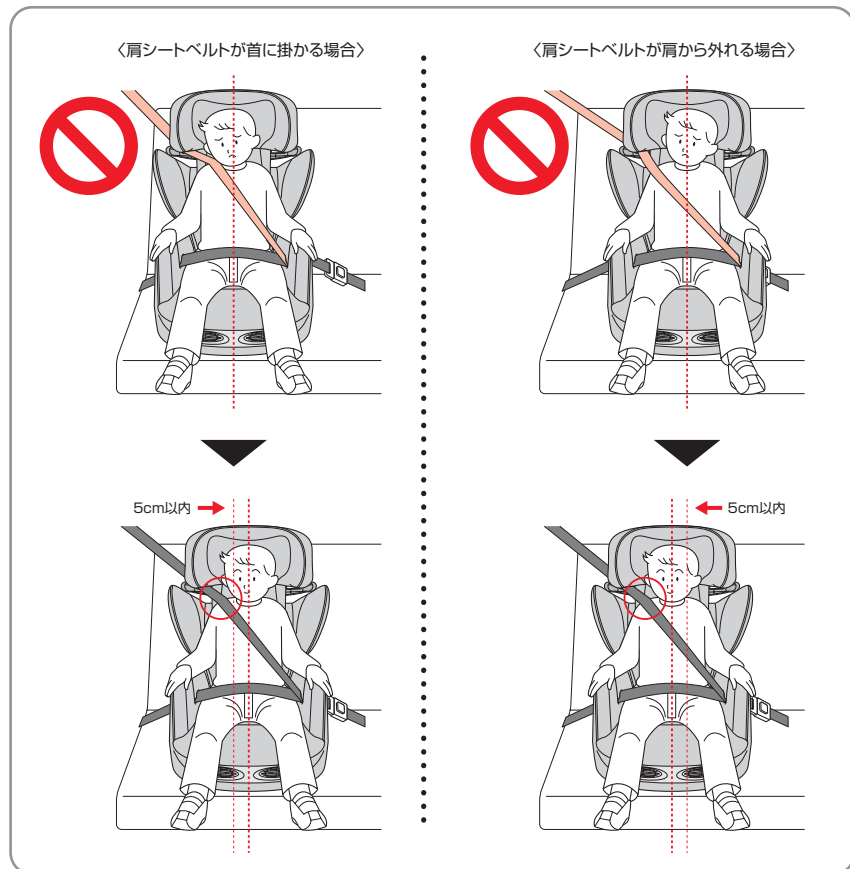
 警告

・車の背もたれを極端に倒した状態で使用しない。

衝突や急ブレーキなどにより保護機能を発揮できず危険になるおそれがあります。

3 お子さまを座面に深く座らせます。

⚠ **注意**

・頭部重心位置（耳の上端部）がチャイルドシートの背もたれの上端部より下になること。

4 ヘッドサポートを内側に倒し、車の肩シートベルトにねじれがないことを確認して、背もたれの肩ベルトガイドに通します。

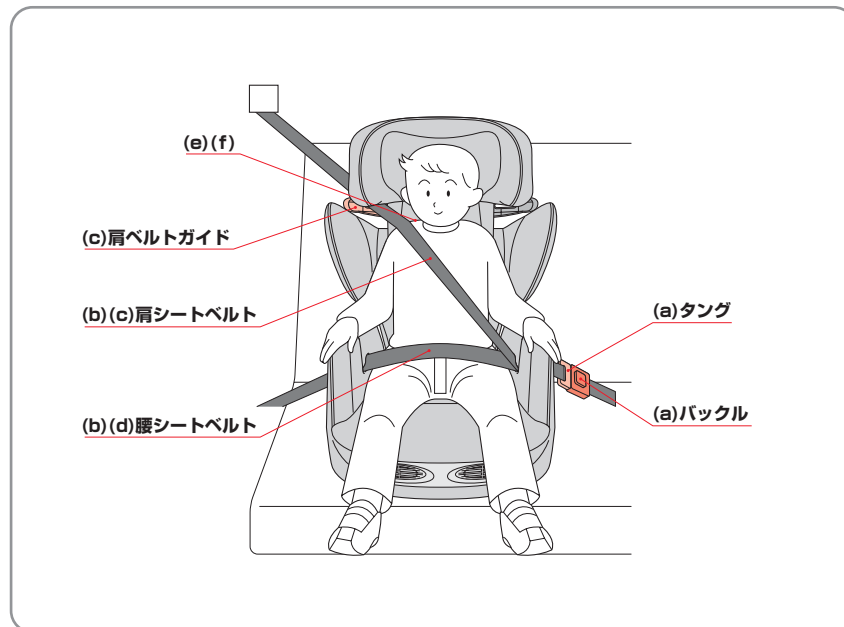
・お子さまの成長に合わせて肩ベルトガイドが正しい位置になるように背もたれの高さを調節してください。

5 車の腰シートベルトにねじれがないことを確認して、座部の左右のベルトガイドに通し、タングをバックルに差し込みます。

・肩シートベルトはバックル側のベルトガイドに通します。

6 車の腰シートベルトがお子さまの骨盤部を通るように低く下げます。

取り付け後の調節方法

・肩シートベルトがお子さまの首に掛かる場合や、肩から外れる場合は、チャイルドシートを座面の中央から左右に 5cm 以内の範囲で移動させます。チャイルドシートの座面が傾かない範囲で調節してください。
・チャイルドシートを移動しても、肩シートベルトがお子さまの首に掛かったり、肩から外れる時は、この座席では使用できません。

⚠危険

・チャイルドシートが取扱説明書通りに取り付けできない座席では使用しない。
・車のシート形状やベルトの位置により、車のシートベルトが戻りにくい場合は、緩みのある状態で使用しない。
・肩シートベルトは、必ず肩ベルトガイドを通してから、お子さまの胸の前を通すこと。

取り付け後の確認

・取り付け完了後、しっかり固定されているか、次の項目を確認してください。

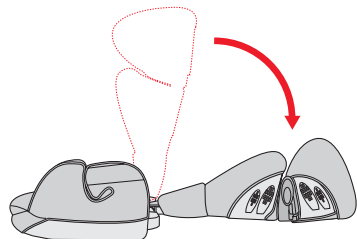
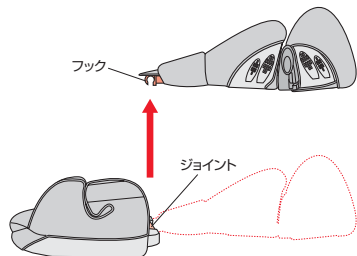
☑ **チェック項目**

(a)車のシートベルトのタングがバックルに差し込まれていること。
(b)車の肩・腰シートベルトに緩み、たるみ、ねじれがないこと。
(c)車の肩シートベルトが肩ベルトガイドを確実に通っていること。
(d)車の腰シートベルトが骨盤部を通るように低く下げて着用していること。
(e)車の肩シートベルトがお子さまの首や身体の弱い部分に掛かっていないこと。
(f)車の肩シートベルトとお子さまの首の間に大人の指 1 ～ 2 本程度のスキ間があること。

• (a)～(f)を確認し、しっかり固定できていない場合は、もう一度 1 ～ 6 の手順で取り付けをやり直してください。
・**1 ～ 6** の手順でやり直しても、しっかり固定できない場合は、当社お客様サポートセンターまでご連絡ください。(P30 参照)

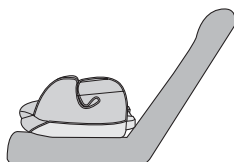
グループⅡ・Ⅲ

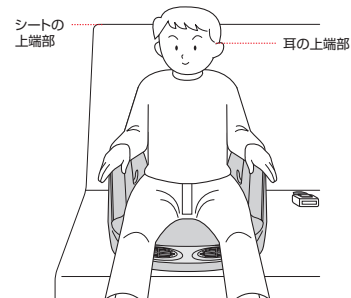
体重： 15kg 以上 36kg 以下（参考身長： 100cm 以上 145cm 以下）

背もたれの取り外し方

1 背もたれを水平になるまで倒します。

2 背もたれを上に持ち上げて取り外します。

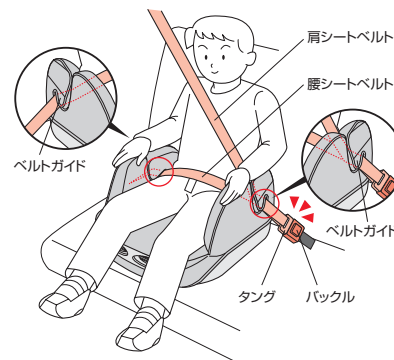
・取り外した背もたれは大切に保管してください。

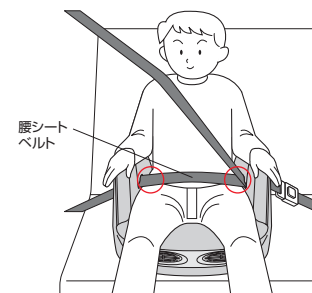
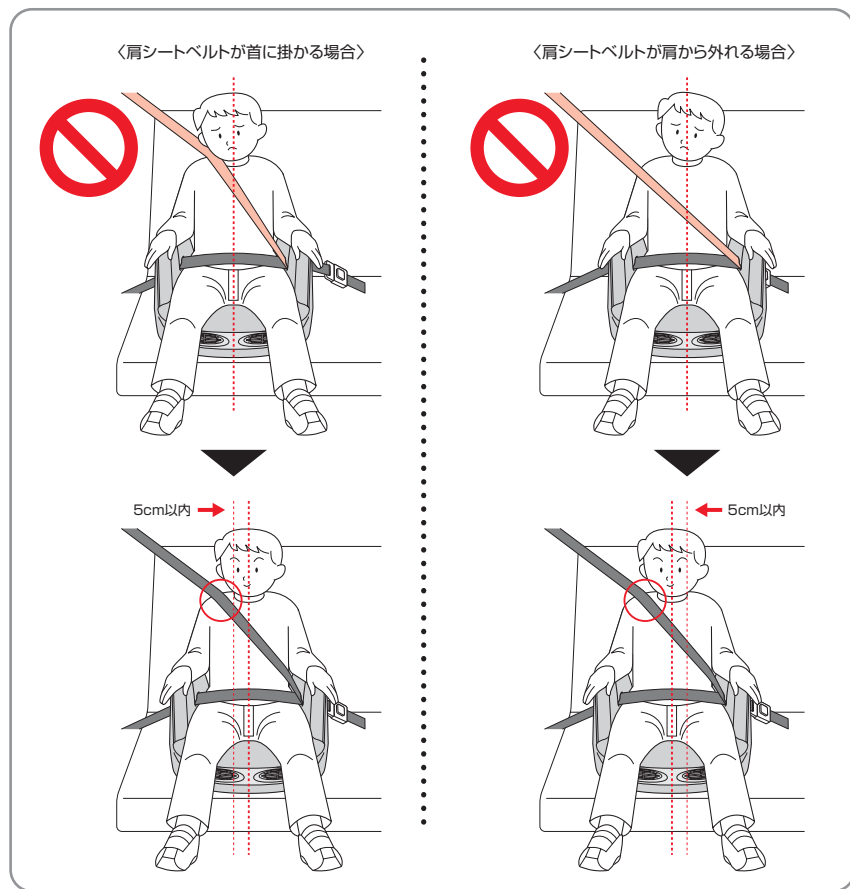
本体の取り付け方

⚠警告

・車の背もたれを極端に倒した状態で使用しない。

衝突や急ブレーキなどにより保護機能を発揮できず危険になるおそれがあります。

1 座部と、車の座席の背もたれのスキ間が出来るだけ小さくなるように置き、お子さまを座面に深く座らせます。

⚠注意

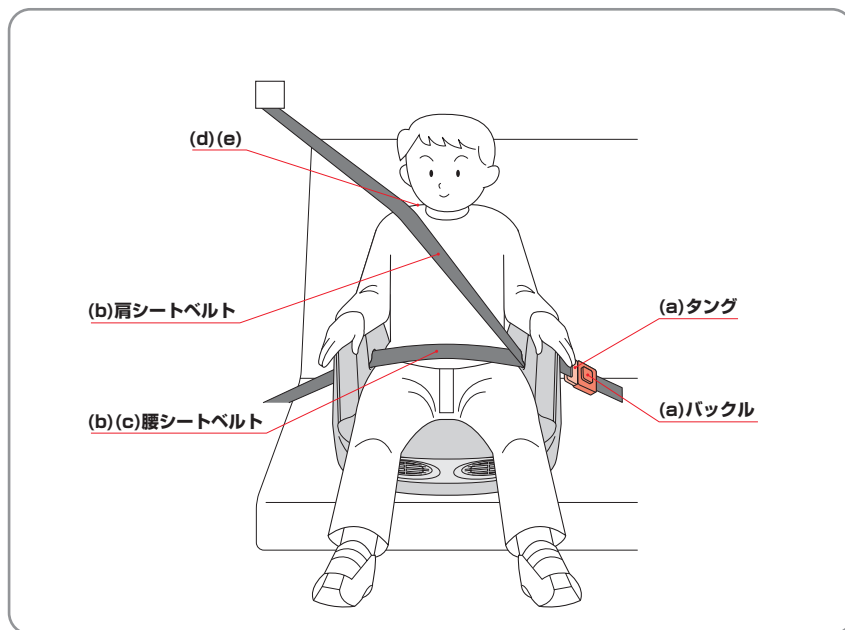
・頭部重心位置（耳の上端部）が車のシートの上端部、又はヘッドレストの上端部より下になること。

2 車の腰シートベルトにねじれがないことを確認して、座部の左右のベルトガイドに通し、タングをバックルに差し込みます。

・肩シートベルトはバックル側のベルトガイドに通します。

3 車の腰シートベルトがお子さまの骨盤部を通るように低く下げます。

取り付け後の調節方法

・肩シートベルトがお子さまの首に掛かる場合や、肩から外れる場合は、チャイルドシートを座面の中央から左右に5cm以内の範囲で移動させます。チャイルドシートの座面が傾かない範囲で調節してください。
・チャイルドシートを移動しても、肩シートベルトがお子さまの首に掛かったり、肩から外れる時は、この座席では使用できません。

⚠危険

・チャイルドシートが取扱説明書通りに取り付けできない座席では使用しない。
・車のシート形状やベルトの位置により、車のシートベルトが戻りにくい場合は、緩みのある状態で使用しない。
・肩シートベルトは、必ず肩ベルトガイドを通してから、お子さまの胸の前を通すこと。

取り付け後の確認

・取り付け完了後、しっかり固定されているか、次の項目を確認してください。

☑ チェック項目

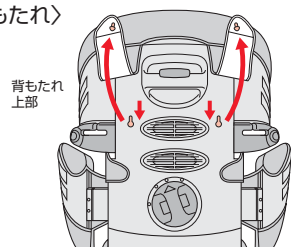
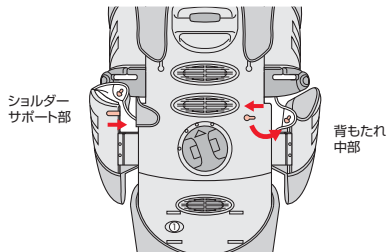
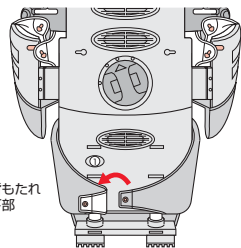
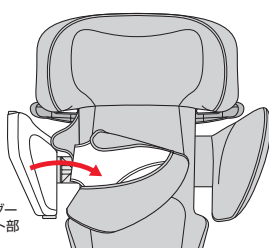
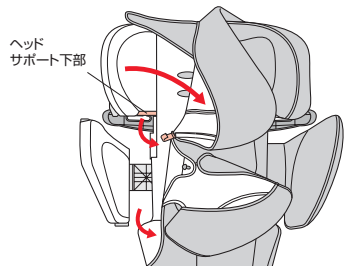
(a)車のシートベルトのタングがバックルに差し込まれていること。
(b)車の肩・腰シートベルトに緩み、たるみ、ねじれがないこと。
(c)車の腰シートベルトが骨盤部を通るように低く下げて着用していること。
(d)車の肩シートベルトがお子さまの首や身体の弱い部分に掛かっていないこと。
(e)車の肩シートベルトとお子さまの首の間に大人の指１～２本程度のスキ間があること。

・**(a)～(e)を確認し、しっかり固定できていない場合は、もう一度1～3の手順で取り付けをやり直してください。**
・**1～3**の手順でやり直しても、しっかり固定できない場合は、当社お客様サポートセンターまでご連絡ください。（P30参照）

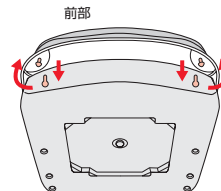
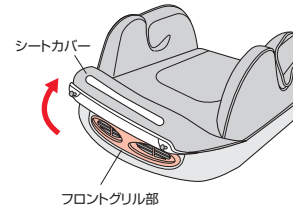
お手入れ方法

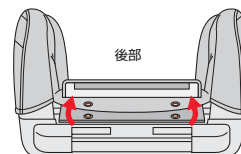
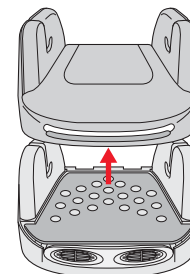
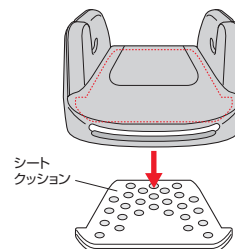
シートカバーの外し方

・左右のショルダーサポートを開いてから行ってください。（P18参照）

〈背もたれ〉

❶背もたれ上部のクリップ（左右）を外します。

❷背もたれ中部のクリップ（左右）とショルダーサポート部のクリップ（左右）を外します。

❸背もたれ下部のホック（1カ所）を外します。

❹ショルダーサポート部のシートカバーを外します。（左右）

❺ヘッドサポート下部のフック（左右）を外し、シートカバーを取り外します。

〈座部〉

❻前部のホック（2カ所）を外します。

❼シートカバーをフロントグリル部から外します。

❽後部のホック（2カ所）を外します。

❾シートカバーを取り外します。

❿シートクッションをシートカバーから取り外します。

・シートカバーを取り付ける時は、逆の手順で取り付けてください。

禁止

・シートクッションは洗浄しない。
・シートカバーやクッション材を他のものと交換したり、外した状態や破れた状態で使用しない。

注意

・シートカバーを取り付ける時は、必ずフロントグリル部にはめ込んでください。

シートカバーの洗濯

・シートカバーは 30℃以下のぬるま湯でやさしく手洗いしてください。
洗濯機は使用しないでください。
・塩素系漂白剤は使用しないでください。
・洗濯後は、絞らずに干してください。
・ドライクリーニングはしないでください。
・陰干ししてください。
・アイロンがけをしないでください。

樹脂部分のお手入れ

〈ほこりなどを吸着した場合〉
・タオルなどで乾拭きしてください。

〈水溶性の汚れ（果汁、ヨダレ、オシッコなど）の場合〉
・ 40℃前後のお湯にタオルを浸し、軽く絞って拭き取ってください。

〈非水溶性の汚れ（牛乳、油脂、マヨネーズなど）の場合〉
・中性洗剤を溶解した 40℃前後のお湯にスポンジを浸し、軽く絞って汚れた部分をスポンジで軽くこすります。その後、水又は温水にタオルを浸し、軽く絞って充分に中性洗剤を拭き取ってください。

⚠注意

・本体の洗浄にはシンナーなどの溶剤を使用しない。

保管する時は

・本体をポリ袋などに入れ、直接日光の当たらない、冷暗所に保管してください。

廃棄する時は

・事故により処分する場合は、本品に「事故品」と油性ペンで目立つところに記入してください。
・地球環境のため、不要になった場合は、お住まいの各自治体の指示にしたがい処分、廃棄してください。

保証について

アフターサービスについて

・ご使用中に故障などが発生したり、点検中に異常を発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、及びその他の異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号をご確認のうえ、お買い上げの販売店または当社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
・製品による二次的な損傷については保証いたしかねます。

アフターサービスについての連絡先

アップリカ・チルドレンズプロダクツ株式会社

〈電話連絡先〉
お客様サポートセンター　TEL **0120ー415ー814**
受付時間：AM10：00～PM5：00（土、日、祝日、当社所定休日を除く）

〈製品をお送りいただく場合のみの宛先〉
〒632-0221　奈良県奈良市都祁白石町1397-1
アップリカ 奈良サービスセンター　☎(0743)84-2050

製品の仕様

商品サイズ	・W：415mm × D：455mm × H：665mm
商品重量	・5.3 kg
材質	・樹脂部：ポリプロピレン
	・シートクッション：ポリウレタン発泡、ポリエチレン発泡
	ポリスチレン発泡
	・表生地：ポリエステル

困った時に

〈ご使用前に困った時〉

No	お気づきの点	対処方法
❶	梱包箱の内容物に不足や間違いがある。	販売店または当社お客様サポートセンターに連絡してください。 参照 P30「電話連絡先」
❷	チャイルドシートをご使用になる車に、取り付け可能か判らない。	販売店または当社お客様サポートセンターに連絡して確認してください。参照　P30「電話連絡先」　または、インターネットのアップリカホームページ「http://www.Aprica.jp/」のチャイルドシート取り付け可能車種一覧表にご使用になる車の車種が有ることを確認してください。
❸	車のどの座席に取り付ければ良いのか判らない。	エアバックの有る助手席に取り付けることができません。また、車両後部座席（3列シートの車両の場合は2列目以降の座席）への取付をお奨めします。 参照 P8「座席の条件／座席の位置及び装備」
❹	チャイルドシートをどのグループ（Ⅱ・Ⅲ）で使えば良いか判らない。	お子さまの体重・身長からお使いになるグループを決定してください。 参照 P7「使用条件」

〈本体の取り付けで困った時〉

No	お気づきの点	対処方法
❶	シートベルトの通し方が判らない。	取扱説明書及び台座の表示シールの内容に従って正しく通してください。 参照 P20「グループⅡ」、P24「グループⅡ・Ⅲ」
❷	シートベルトの“ねじれ”が取れない。	チャイルドシートを取り外し、車の取扱説明書に従って“ねじれ”を取り除いてください。 参照 P20「グループⅡ」、P24「グループⅡ・Ⅲ」
		シートベルトのバックルにタングを“ねじって”挿入していないか確認してください。 参照 P20「グループⅡ」、P24「グループⅡ・Ⅲ」
❸	チャイルドシートを、取扱説明書の通りに車の座席に取り付けてもグラグラする。	台座を持ち前後左右に動かした時に、移動量が2.5cm以内ならば問題ありません。2.5cm以上発生する場合は、車体への取り付け方法を再度ご確認の上、もう一度初めから取り付け直してください。 参照 P19「グループⅡ」、P23「グループⅡ・Ⅲ」
		何度取り付けても固定できない場合は、チャイルドシートと車の座席がミスマッチの可能性があります。販売店または当社お客様サポートセンターに確認してください。 参照 P30「電話連絡先」

〈お子さまの乗せ方で困った時〉

No	お気づきの点	対処方法
❶	肩シートベルトがお子さまの首に掛かる	チャイルドシートを座面の中央から左右に5cm以内の範囲で移動させます。 参照 P21「グループⅡ」、P25「グループⅡ・Ⅲ」
❷	肩シートベルトがお子さまの肩から外れる	チャイルドシートを座面の中央から左右に5cm以内の範囲で移動させます。 参照 P21「グループⅡ」、P25「グループⅡ・Ⅲ」
❸	肩ベルトとお子さまの適切なフィット感が判らない。	車の肩シートベルトとお子さまの首の間に大人の指1～2本程度のスキ間があること。 参照 P22「グループⅡ」、P26「グループⅡ・Ⅲ」

〈中古品のご使用について〉

No	お気づきの点	対処方法
❶	前の使用者の使用履歴が分からない。	使用状態が不明な製品をご使用になることはできません。特に事故歴の不明な場合はご使用になれません。
❷	クラック（ひび割れ）や大きなキズ、留め金部の緩みなどがある。	ご使用になれません。 事故などにより強い衝撃が加わった可能性があります。

・解決しない場合は当社お客様サポートセンターに連絡してください。